

2013 年 9 月 6 日

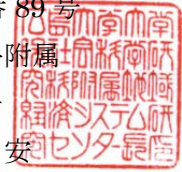
幼稚園・保育所等の園長先生、所長様

広島市中区東千田町 1 丁目 1 番 89 号

広島大学大学院社会科学研究所附属

地域経済システム研究センター

センター長 伊藤 敏 安



「保育の質と子どもの発達に関するアンケート調査」
保護者への配布と代表者のご回答について（お願い）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究センターでは現在、文部科学省科学研究費補助金などを得て、教育の質と地域格差などに関する研究を実施しております。その一環として、札幌市と東広島市のすべての幼稚園・保育所等の代表者ならびに保護者の方々を対象にアンケート調査をすることになりました。

つきましては、ご多用のところまことに恐縮ではございますが、下記要領により、来春卒園予定の園児に「保護者アンケート」を配布していただくとともに、園長先生・所長様には「施設長アンケート」に回答していただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケートの趣旨、回答期限、お問い合わせ先などは、「保護者アンケート」と「施設長アンケート」の 1 ページ目のとおりです。

敬具

記

1. 保護者アンケートの配布について

- ・アンケートの対象は、来春小学校入学予定の園児（年長組、5歳児）の保護者です。アンケート用紙・返信用封筒は別添のとおりです。人数分に加えて若干の予備を入れていますが、不足する際にはお知らせください。すぐにお送りいたします。余った書類は、お手数ですが、処分をお願いいたします。
- ・園児にアンケート用紙・返信用封筒を配布してください。双子、三つ子などで、ひとつの世帯に該当者が複数いる場合は、ひとりずつに配布してください。
- ・回答は保護者がおこない、それぞれ個別に返信用封筒で回答してもらうことになっています。貴園・貴所で督促されたり、回収されたりする必要はありません。
- ・回答期限は9月30日（月）です。これに間に合うよう配布をお願い申し上げます。

2. 施設長アンケートについて

- ・アンケート用紙と返信用封筒を同封しています。園長先生、所長様またはこれに準じる方に回答をお願いいたします。

以上

保育の質と子どもの発達に関するアンケート調査

ご協力をお願い [施設長]



1. この調査の目的

- ・ノーベル経済学賞受賞者ヘックマン・シカゴ大学教授らの研究により、質の高い保育や幼児教育が、子どものその後の発達に重要な役割を果たすことが明らかになってきましたが、日本ではまだ「保育・幼児教育の質」に関する本格的な調査・研究はおこなわれていません。
- ・このアンケート調査は、子どもの健やかな発達に必要な保育・幼児教育の質を向上させるためには何が必要か、あるいはどのような政策が望ましいのかを検証するための基礎データの把握を目的としています。
- ・保護者の皆さまと保育・幼児教育に関わっておられる方々の双方の現在の状況やご意見などを総合的に調査するもので、日本では初めての試みとして、関係各方面から大きな期待が寄せられています。

2. 調査対象、調査方法、回答期限

- ・この調査は、札幌市と東広島市の公立・私立の幼稚園と認可保育所、認定こども園、認可外保育所にご協力をお願いしています。
- ・調査結果は、自由回答を除くすべてのデータを機械的に入力し、統計学の手法によって分析します。
- ・少し立ち入った質問もありますが、個人情報収集を目的ではありません。詳しい分析や政策提言をおこなうために必要不可欠な基礎データです。
- ・調査実施にあたっては「広島大学個人情報の取扱いに関する規則」を遵守し、情報保護には万全の対策をとっています。
- ・アンケート用紙は、「**9月30日(月)まで**」に返信用封筒で投函をお願いいたします(切手は不要です)。

3. 調査結果の公開

- ・調査結果の概要は、2013年12月ごろ、ホームページで公開する予定です(「広島大学地域経済システム研究センター」で検索してください)。
- ・詳しい分析結果は、国内外の学会・研究会での発表・討議ののち、学術論文として専門雑誌に発表する予定です。

4. お問い合わせ

- ・広島市中区東千田1-1-89
広島大学地域経済システム研究センター 野崎祐子
- ・電話 (082)542-6992 E-mail ynozaki@hiroshima-u.ac.jp

保育の質と子どもの発達に関するアンケート調査

ご協力をお願い [保護者]



1. この調査の目的

- ・ノーベル経済学賞受賞者ヘックマン・シカゴ大学教授らの研究により、質の高い保育や幼児教育が、子どものその後の発達に重要な役割を果たすことが明らかになってきましたが、日本ではまだ「保育・幼児教育の質」に関する本格的な調査・研究はおこなわれていません。
- ・このアンケート調査は、子どもの健やかな発達に必要な保育・幼児教育の質を向上させるためには何が必要か、あるいはどのような政策が望ましいのかを検証するための基礎データの把握を目的としています。
- ・保護者の皆さまと保育・幼児教育に関わっておられる方々の双方の現在の状況やご意見などを総合的に調査するもので、日本では初めての試みとして、関係各方面から大きな期待が寄せられています。

2. 調査対象、調査方法、回答期限

- ・この調査は、札幌市と東広島市の公立・私立の幼稚園と認可保育所、認定こども園、認可外保育所にご協力をお願いしています。
- ・調査結果は、自由回答を除くすべてのデータを機械的に入力し、統計学の手法によって分析します。
- ・少し立ち入った質問もありますが、個人情報収集を目的ではありません。詳しい分析や政策提言をおこなうために必要不可欠な基礎データです。
- ・調査実施にあたっては「広島大学個人情報の取扱いに関する規則」を遵守し、情報保護には万全の対策をとっています。
- ・アンケート用紙は、「9月30日(月)まで」に返信用封筒で投函をお願いいたします(切手は不要です)。

3. 調査結果の公開

- ・調査結果の概要は、2013年12月ごろ、ホームページで公開する予定です(「広島大学地域経済システム研究センター」で検索してください)。
- ・詳しい分析結果は、国内外の学会・研究会での発表・討議ののち、学術論文として専門雑誌に発表する予定です。

4. お問い合わせ

- ・広島市中区東千田1-1-89
広島大学地域経済システム研究センター 野崎祐子
- ・電話 (082)542-6992 E-mail ynozaki@hiroshima-u.ac.jp